

教科	書写	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の「こんにちは」	2	○世界にはさまざまな文字があることを知り、文字に対する興味・関心を高めることができる。 ○日本の文字の特徴について、興味・関心を高めることができる。	B ：世界にはさまざまな文字があることについて知っている。 日本の文字の特徴について知っている。 A ：世界にはさまざまな文字があることを理解している。 日本の文字について理解している。 支援 ：教科書紙面を使いながら説明をすることで理解を促す。	B ：日常生活の中で見られる世界や日本の文字の印象について話し合い、考えている。 A ：日常生活の中で見られる世界や日本の文字の印象について進んで話し合い、よく考えている。 支援 ：文字に関する発問を用意しておくなど、話し合いの観点を示すようにする。	B ：世界や日本の文字について、理解していこうとする意識をもっている。 A ：世界や日本の文字について、積極的に調べていこうとしている。 支援 ：教科書の例、または用意しておいた世界の文字や日本の文字などを提示し、関心を高めるようにする。
四年生で学習すること 目次 学習の進め方		○1年間の学習内容や学習の進め方について確認し、書写学習に対する意欲をもつことができる。	B ：1年間のめあてや学習内容について知っている。 A ：1年間のめあてや学習内容について理解している。 支援 ：前学年で学習した内容をふまえながら説明する。		B ：1年間の学習内容を知り、書写学習に対する意欲をもっている。 A ：1年間の学習内容を知り、積極的に書写学習に取り組む意欲をもっている。 支援 ：教科書紙面を参照しながら、1年間の学習内容と、学習したことを書写以外の学習にも生かしていくことについて説明する。
1 はじめの学習 1 毛筆用具の名前と置き方やあつかい方 2 よいしせいと筆の持ち方 3 3年生で学習したこと ■点画の種類 4 あとかたづけ		○用具の並べ方や扱い方について確かめることができる。 ○よい姿勢や筆の持ち方について確かめることができる。 ○常によい姿勢やよい持ち方を意識して書くことができる。 ○3年生で学習したことを確かめることができる。	B ：用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を理解している。 用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方が身についている。 3年生で学習した「筆圧」や「点画の種類」について理解している。 A ：用具の扱い方や、よい姿勢、筆の持ち方で書くことを、よく理解している。 用具の扱い方や、姿勢、筆の持ち方が、よく身についている。 3年生で学習した「筆圧」や「点画の種類」について、よく理解している。 支援 ：よい姿勢やよい筆の持ち方で書くことの大切さについて理解を促す。 用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方のポイントを具体的に説明する。 教科書紙面を参照しながら、「点画の種類」と筆圧のかけ方について理解を促す。	B ：用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良さあしを考えている。 筆の穂の柔らかさや筆圧について考えている。 A ：用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良さあしを判断できる。 筆の穂の柔らかさや筆圧について、よく考えている。 支援 ：どこを正すと姿勢、筆の持ち方がよくなるかを、基準に照らして説明する。 筆の状態を確認し、運筆がしやすい状態に整えるようにする。 教科書紙面を参照しながら、筆圧を三段階でとらえて、力の入れ方と太さを確かめられるようにする。	B ：用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を確かめようとしている。 他の書写場面でも、よい姿勢やよい持ち方で、筆の穂の柔らかさや筆圧、「点画の種類」を意識して書こうとする意識をもっている。 A ：用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を積極的に確かめようとしている。 常によい姿勢やよい持ち方で、筆の穂の柔らかさや筆圧、「点画の種類」を意識して書こうとする意識をもっている。 支援 ：用具の配置図や姿勢図、持ち方の写真と比べて、自分でチェックできるようにする。 書写以外の学習でも気をつけるように呼びかける。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2 点画の筆使い 『花』	2～3	○点画の筆使いを確かめることができる。 ○点画の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○点画の書き方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B ：点画の筆使いについて理解している。 点画の筆使いに気をつけて書いている。 A ：点画の筆使いについてよく理解し、字形を把握している。 点画の筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：他の文字の例を見ることによって、点画の筆使いを確かめられるようにする。 それぞれの課題解決ができるような練習用紙を使って、書きにくい部分が解決できるようにはたらきかける。	B ：点画の筆使いについて考えている。 A ：点画の筆使いの良さあしを考えている。 支援 ：穂先の向きと穂先の通り道はどうなっているか説明できるようにする。空書することで、それぞれの筆使いを確かめるようにする。	B ：点画の筆使いに気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、点画の筆使いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：点画の筆使いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に点画の筆使いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：水書板などを使って、「はらい」「曲がり」などの筆使いを確かめられるようにする。
【レッツ・トライ】 発表しりょう一学習内ようをまとめる	1	○横書きの書き方(行頭のそろえ方、字間、行間)を理解して、文字の大きさや配列に気をつけて書くことができる。 ○他教科の学習のなかで、文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意欲をもつことができる。	B ：横書きの書き方と配列について理解している。 横書きの書き方を理解して、配列に気をつけて書いている。 A ：横書きの書き方をよく理解して、配列の整え方について把握している。 横書きの書き方を理解して、配列よく書いている。 支援 ：簡条書きを書く際の行頭のあげ方や字間など、具体的な視点をあげて呼びかける。 補助線を引いて、配列を確かめられるようにする。	B ：読み手に内容がよく伝わる発表資料の作成方法について話し合っている。 A ：読み手に内容がよく伝わる発表資料の作成方法について、積極的に話し合っている。 支援 ：どのように書いたら相手に伝わりやすいか、具体的な場面について投げかけるようにする。	B ：書写以外の学習でも、相手意識をもって配列に気をつけて書こうとしている。 A ：書写以外の学習でも、相手意識をもって配列に気をつけて積極的に書こうとしている。 支援 ：書写で学習した内容を、他教科で生かしていく学習であることを伝える。 書写以外の学習でも、相手意識をもって配列に気をつけて書くよう呼びかける。
3 筆順と字形 『左右』	3～4	○筆順と字形の関係を理解することができる。 ○筆順に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○筆順と字形を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B ：筆順と字形との関係について理解している。 筆順と字形に気をつけて書いている。 A ：筆順と字形との関係についてよく理解し、字形の整え方を把握している。 正しい筆順で、字形を整えて書いている。 支援 ：他の文字の例を見ることによって、筆順と字形の関係を確かめられるようにする。 画の長さや外形について、具体的に説明できるようにする。	B ：筆順と字形との関係について考えている。 A ：筆順と字形との関係について、よく考えている。 支援 ：分解文字などを使って、筆順と字形が確かめられるようにする。	B ：筆順と字形に気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、筆順と字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：筆順と字形に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に筆順と字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：字源を説明することで、筆順と字形に対する関心を高められるようにする。 学習した以外の文字や硬筆でも、筆順と字形に気をつけて書くよう呼びかける。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈こう筆の学習〉 筆順と字形		○筆順の原則を理解することができる。 ○筆順に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B ：筆順の原則について理解している。 筆順と字形に気をつけて書いている。 A ：筆順の原則についてよく理解し、字形の整え方を把握している。 正しい筆順で、字形を整えて書いている。 支援 ：いろいろな文字の例にあてはめて考えることによって、筆順と字形の関係を確かめられるようにする。 字形が整っていない文字について、筆順を確かめられるようにする。	B ：筆順の原則について考えている。 A ：筆順の原則についてよく考えている。 なぜ筆順どおりに書くことが大切なのか、考えている。 支援 ：教科書の図版などを使って、筆順の原則が確かめられるようにする。	B ：筆順と字形に気をつけて、硬筆で書こうとしている。 他の書写場面でも、筆順の原則に従って、字形を整えて書こうとする意識をもっている。 A ：筆順と字形に気をつけて、字形を整えて硬筆で書こうとしている。 常に筆順の原則に従って、字形を整えて書こうとする意識をもっている。 支援 ：文字の中のどの部分に筆順の原則が使われているか説明することで、筆順に対する関心を高める。 書写の授業以外でも、筆順と字形に気をつけて書くよう呼びかける。
4 ひらがなの筆使い 『はす』	2	○「結び」の筆使いを理解することができる。 ○「結び」の筆使いや形の違いに気をつけて書くことができる。 ○「結び」の形の違いを確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B ：「結び」の筆使いについて理解している。 「結び」の筆使いに気をつけて書いている。 A ：横の「結び」と縦の「結び」の筆使いの違いや字形について、よく理解している。 「結び」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：拡大文字などを使って、筆使いや形が視覚的に確かめられるようにする。 教科書の図版を参照しながら縦の結びと横の結びの違いについて説明し、理解できるようにする。	B ：「結び」の筆使いについて考えている。 A ：「結び」の筆使いの良しあしを考えている。 支援 ：朱墨や薄墨を使って、穂先の向きや通り道が確かめられるようにする。	B ：「結び」の筆使いに気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、「結び」の字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：「結び」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に縦・横の「結び」の字形の違いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：拡大文字などを使って、「結び」の筆使いや形に気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも、「結び」の形の違いに気をつけて書くよう呼びかける。
【レッツ・トライ】 ノート—理科のノート	1	○学習内容が理解しやすいノートのまとめ方を理解することができる。 ○書写で学習した内容を、他教科での学習に生かしていく意識をもち、工夫して書こうとすることができる。	B ：学習内容が理解しやすいノートのまとめ方についてわかっている。 学習内容が理解しやすいように工夫してノートをまとめている。 A ：学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について、よく理解している。 学習内容が理解しやすいように、よく工夫してノートをまとめている。 支援 ：簡条書きで書く際に行頭のあけ方や余白のとり方など、具体的な視点をあげて呼びかける。 自分の普段のノートを見直してみて、わかりにくい点はないか確かめるようにする。	B ：学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について考えている。 A ：学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について、よく考えている。 支援 ：どのように書いたら内容が理解しやすいか、具体的な書き方について例示するようにする。	B ：書写で学習した内容を、他教科での学習に生かしていく意欲をもっている。 書写以外の学習場面でも、わかりやすい書き表し方を工夫して書こうとしている。 A ：書写で学習した内容を、他教科での学習に生かし、積極的に書こうとする意欲をもっている。 常にわかりやすい書き表し方を工夫して書こうとしている。 支援 ：書写で学習した内容を、他教科で生かしていく学習であることを伝える。 書写以外の学習でも、わかりやすい書き表し方を工夫して書くよう呼びかける。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【レッツ・トライ】 はがき一けい老の日のはがき	1	○はがきの形式を理解し、相手意識をもって丁寧に書くことができる。 ○文字の大きさや行の中心に気をつけて書くことができる。	B ：文字の大きさや行の中心の揃え方について理解している。 はがきの形式に従って、文字の大きさに気をつけて書いている。 A ：文字の大きさや行の中心の揃え方について、よく理解している。 はがきの形式に従って、文字の大きさと行の中心に気をつけて書いている。 支援 ：教科書の紙面を参照しながら、はがきの書式について確かめられるようにする。 はがきに対して文字が大きすぎたり小さすぎたりしのように、教科書を見ながら確かめられるようにする。	B ：はがきの形式に従って丁寧に書く方法について考えている。 A ：はがきの書式に従って、文字の大きさや行の中心を整えて書く方法について考えている。 支援 ：相手の名前を上の方に書くことや、はがきの中央に大きく書くのは、相手を敬う気持ちが表れていることを説明する。	B ：はがきの形式を理解し、丁寧に書こうとしている。 A ：はがきの形式を理解し、相手意識をもって丁寧に書こうとしている。 支援 ：実際のはがきの例を提示することで関心を高めるようにする。
5 文字の組み立て方(左右) 『林』	2	○「へん」と「つくり」の幅の違いと点画の形の変化を理解することができる。 ○「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○「へん」の幅と点画の形を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B ：「へん」と「つくり」の幅の違いと点画の形の変化について理解している。 「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて書いている。 A ：「へん」と「つくり」の幅の違いと点画の形の変化についてよく理解し、字形を把握している。 「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：他の文字の例を見ることによって、点画のゆずり合いを比べてみるができるようにする。 点画のゆずり合いが確認できるようにする。	B ：「へん」と「つくり」の組み立て方について考えている。 A ：「へん」と「つくり」の組み立て方の良しあしを考えている。 支援 ：拡大文字などを使って、文字の組み立て方が確かめられるようにする。	B ：「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも、文字の組み立て方に気をつけて書くよう呼びかける。
6 文字の組み立て方(上下) 『笛』	2	○上の部分の高さと形の変化を理解することができる。 ○上下の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○上下の組み立て方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B ：上の部分と下の部分の高さの違いと点画の形の変化について理解している。 上下の組み立て方に気をつけて書いている。 A ：上の部分と下の部分の高さの違いと点画の形の変化についてよく理解し、字形を把握している。 上下の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：他の文字の例を見ることによって、点画のゆずり合いを比べてみるができるようにする。	B ：上下の組み立て方について考えている。 A ：上下の組み立て方の良しあしを考えている。 支援 ：拡大文字などを使って、文字の組み立て方が確かめられるようにする。	B ：「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：学習した以外の文字でも、文字の組み立て方に気をつけて書くよう呼びかける。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7 文字の組み立て方(選たく) ①左右の組み立て方 『土地』 ②上下の組み立て方 『岩山』	5～6	○自分のめあてを設定し、めあてに合わせた教材を選択し、めあてに気をつけて書くことができる。 ○左右・上下の組み立て方(幅や高さのとり方)を理解して、字形を整えて書くことができる。 ○左右・上下の組み立て方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B : 左右・上下の組み立て方(幅や高さのとり方)を理解している。 左右・上下の組み立て方に気をつけて書いている。 A : 左右・上下の組み立て方(幅や高さのとり方)を理解し、字形を把握している。 左右・上下の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 : 点画のゆずり合いや、自分の課題が視覚的に確かめられるようにする。 点画のゆずり合いが確認できるようにする。	B : 自分のめあてに適した教材を選択している。 幅や高さ、形がどう変わっているか、考えている。 A : 自分のめあてに適した教材を、適切に選択している。 幅や高さ、形がどう変わっているか、よく考えている。 支援 : それぞれの教材文字は、幅や高さ、形がどう変わるのか、同じ課題の友達と考えることができるようにする。	B : 自分のめあてを設定し、めあてに合わせた教材を選択しようとしている。 他の文字や硬筆でも、自分の課題をもち、組み立て方に気をつけて書こうとしている。 A : 自分のめあてを設定し、めあてに合わせた教材を選択し、めあてに気をつけて書こうとしている。 常に自分の課題をもち、組み立て方に気をつけて書こうとしている。 支援 : 自分の課題はどのようなところにあるか、前時を振り返り確かめられるようにする。 学習した以外の文字でも、組み立て方に気をつけて、主体的に書くよう呼びかける。
<こう筆の学習> 文字の組み立て方		○左右・上下の組み立て方と点画の変化について理解することができる。 ○左右・上下の組み立て方と点画の変化に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。 ○左右・上下の組み立て方で構成される漢字の、点画の変化を見つけて活動について、意欲的に取り組むことができる。	B : 左右の幅の違い、上下の高さの違いと点画の変化について理解している。 左右・上下の組み立て方と点画の変化に気をつけて書いている。 A : 左右・上下の組み立て方と点画の変化についてよく理解し、字形を把握している。 左右・上下の組み立て方と点画の変化に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 : 拡大文字や分解文字などを使って、組み立て方と点画の変化が視覚的に理解できるようにする。 左右の幅や上下の高さと点画の変化について意識できるようにする。	B : 左右の幅、上下の高さ、点画の変化について考えている。 A : 左右・上下の組み立て方、点画の変化の良しあしを考えている。 支援 : 毛筆文字などを使って、組み立て方や幅、点画の変化が確かめられるようにする。	B : 左右・上下の組み立て方のある漢字を書く活動に取り組もうとしている。 他の文字でも左右・上下の組み立て方と点画の変化に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A : 左右・上下の組み立て方のある漢字を書く活動に、意欲をもって取り組もうとしている。 常に左右・上下の組み立て方と点画の変化に気をつけて書こうとする意欲をもっている。 支援 : 漢字合わせクイズを行ったり、部首のものと字について調べたりすることで、関心を高めるようにする。 学習した以外の文字でも、組み立て方と点画の変化に気をつけて書くよう呼びかける。
【レッツ・トライ】 文化 ― 短歌	1	○文字の大きさと配列について理解することができる。 ○文字の大きさや行の中心に気をつけて、配列を整えて書くことができる。	B : 文字の大きさと配列について理解している。文字の大きさと配列に気をつけて書いている。 A : 文字の大きさと配列についてよく理解し、字形を把握している。 文字の大きさと配列に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 : 文字の外形を囲むことで、文字の大きさが視覚的に確かめられるようにする。 中心線などの補助線を引いて、配列を確かめられるようにする。	B : 文字の大きさと配列について考えている。 A : 文字の大きさと配列について、よく考えている。 支援 : 試書と教材文字とを比較して、自分の課題がわかるようにする。	B : 文字の大きさと配列に気をつけて書こうとしている。 書写以外の学習場面でも、文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A : 文字の大きさと配列に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 : 文字の大きさと配列に着目するよう呼びかける。 書写以外の学習でも、文字の大きさや配列に気をつけて書くよう呼びかける。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書きぞめ 『元気』 『美しい空』	3～4	○床の上や立って書くときの姿勢、筆の持ち方に気をつけて、これまでの学習を生かして書くことを理解することができる。 ○文字の大きさや中心に気をつけて、字形を整えて書くことができる。	B ：書きぞめの姿勢や持ち方、筆使いについて理解している。 これまで学習した筆使いや文字の大きさに気をつけて書いている。 A ：書きぞめの姿勢や持ち方、筆使いについて、よく理解している。 これまで学習した筆使いや文字の大きさに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：今まで学習した筆使いについて、点画の名称を確認しながら理解できるようにする。 書きぞめ用紙を縦半分に折り、中心を意識できるようにする。 外形を考えることで、文字の大きさについて確かめられるようにする。	B ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。 A ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方の良しあしを考えている。 支援 ：姿勢図や筆の持ち方の図版などを使って、確かめられるようにする。	B ：書きぞめに関心を持ち、書こうとしている。 他の学習の書写場面でも、よい姿勢や持ち方で、字形を整えて書こうとする意識をもっている。 A ：書きぞめに関心を持ち、積極的に書こうとしている。 常によりよい姿勢や持ち方で、字形を整えて書こうとする意識をもっている。 支援 ：書きぞめの由来を説明し、書きぞめについて関心が高まるようにする。 書写以外の学習でも、姿勢や持ち方、筆使いに気をつけて書くよう呼びかける。
【知りたい 文字の世界】 さまざまなかるた	適時	○さまざまなかるたについて知り、文字に対する興味・関心を高めることができる。			B ：さまざまなかるたについて調べようとしている。 A ：さまざまなかるたについて、積極的に調べようとしている。 支援 ：学校にあるさまざまなかるたを例示することで、関心を高めるようにする。
【レッツ・トライ】 かるたーぼうさいかるたを作る	1	○これまで学習した内容を生かして、ぼうさいかるたの文字を書くことができる。 ○用紙全体に対する文字の大きさや配列を考えて書くことができる。	B ：読みやすい文字の大きさや配列を理解している。 文字の大きさや配列に気をつけて防災かるたを書いている。 A ：読みやすい文字の大きさや配列について、よく理解している。 文字の大きさや配列を整えて、防災かるたを書いている。 支援 ：行が曲がってしまう場合は鉛筆で薄く中心線を書いたり、文字を書く位置に丸で印をつけたりするよう呼びかける。	B ：読みやすい文字の大きさや配列について考えている。 A ：読みやすい文字の大きさや配列について、よく考えている。 支援 ：平仮名は漢字よりやや小さく書くこと、頭文字は大きく書くことなどを、具体的に説明する。	B ：文字の大きさと配列に気をつけて書こうとしている。 書写以外の学習場面でも、文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：文字の大きさと配列に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：文字の大きさと配列に着目するよう呼びかける。 書写以外の学習でも、文字の大きさや配列に気をつけて書くよう呼びかける。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
8 学習のまとめ 『平和』	4～5	○これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで、めあてに気をつけて書くことができる。 ○学習したことを生かして、硬筆で書いて確かめることができる。	B ：これまで学習した字形の整え方について理解している。 これまで学習したことを生かして、字形の整え方に気をつけて書いている。 A ：これまで学習した字形の整え方について、よく理解している。 これまで学習したことを生かして、字形を整えて書いている。 支援 ：1年間の学習内容や成果が確かめられるようにする。 字形の整え方の要点や筆使いなどを具体的に示すようにする。	B ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで選んでいる。 A ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを適切に選んでいる。 支援 ：教材文字と比べて批正することで、自分のめあてが見つけられるように支援する。	B ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで書こうとしている。 硬筆の学習でも、字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選び、積極的に書こうとしている。 常に字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：1年間の学習事項や筆使いなどが確かめられるようにする。 書写の授業以外でも、字形に気をつけて書くよう呼びかける。
【知っておこう】 手紙—学習発表会の案内の手紙		○手紙の形式を理解し、文字の大きさや行の中心に気をつけて書くことができる。	B ：手紙の書き方について理解している。 A ：手紙の書き方について、よく理解している。 支援 ：教科書の紙面を参照しながら、手紙の書式について確かめられるようにする。 封筒に対して文字が大きすぎたり小さすぎたりしのように、教科書を見ながら確かめられるようにする。		
【書いて 伝え合おう】 新聞—学級新聞を作ろう	適時	○書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。	B ：読みやすく書くための基準について理解している。 文字の大きさや配列に注意したり、筆記用具を工夫したりしている。 A ：読みやすく書くための基準について、よく理解している。 文字の大きさや配列に注意したり、筆記用具を工夫したりして、読みやすく書き表している。 支援 ：配列は整っているか、筆記用具は効果的に使われているかなど、具体的な投げかけをする。 鉛筆で下書きをすることで、文字の大きさや配列のめやすくなるようにする。	B ：読みやすく書くための基準を意識して、新聞を見直している。 A ：読みやすく書くための基準を意識して、新聞を見直したり工夫したりしている。 支援 ：読みやすく書くための基準について確かめられるようにする。	B ：書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもっている。 他の学習場面でも、読みやすく書くために工夫していこうとする意識をもっている。 A ：書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも進んで生かしていく意欲をもっている。 常に読みやすく書くために工夫していこうとする意識をもっている。 支援 ：読みやすい掲示物の例などを具体的に例示する。 書写の授業以外でも、相手の読みやすさを考えて書くよう呼びかける。
【知っておこう】 メモ—ダム見学での聞き取りメモ		○書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。	B ：メモの取り方について理解している。 A ：メモの取り方について、よく理解している。 支援 ：教科書の紙面を参照しながら、メモの取り方について確かめられるようにする。		

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【漢字表】 四年生で学習する漢字 三年生で学習した漢字		○3年生で学習した字形の整え方、筆順などを確かめることができる。 ○4年生で学習した字形の整え方、筆順などを確かめることができる。 ○巻末漢字表を活用した漢字の仲間分けの活動を行ったり、筆順をまちがえやすい漢字について確かめたりすることができる。	B ：同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けについて理解している。 同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けをしている。 A ：同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けについて、よく理解している。 同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字を正しく仲間分けしている。 支援 ：これまで学習した基本、点画などの内容を振り返り、確かめられるようにする。 どの文字のどの部分に着目して探すか、具体的に説明する。	B ：これまで学習した字形の整え方、筆順について考えている。 同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けについて考えている。 A ：これまで学習した字形の整え方、筆順について、よく考えている。 同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けについて判断している。 支援 ：教科書紙面を使って、正しい筆順や字形の整え方などが確かめられるようにする。 どの文字のどの部分に着目して探すか、具体的に説明する。	B ：巻末漢字表を使った漢字の仲間分けの活動や、漢字の成り立ちについて、関心を高めている。 書写以外の学習でも、筆順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：巻末漢字表を使った漢字の仲間分けの活動や、漢字の成り立ちについて関心を高め、進んで取り組もうとしている。 常に筆順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：巻末漢字表の使い方について確かめられるようにする。 書写の授業以外でも、気をつけるよう意識づける。
【ひらがな表】 【かたかな表】 【筆記用具の特ちょう】		○平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめることができる。	B ：平仮名、片仮名の筆順や字形について理解している。 A ：平仮名、片仮名の筆順や字形について、よく理解している。 支援 ：ふだん、字形を整えにくい文字に関して、教科書を見ながら確認できるようにする。		B ：平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめている。 常に平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめようとする意識をもっている。 A ：平仮名、片仮名の筆順や字形を、積極的に確かめている。 常に平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめて、丁寧に書こうとする意識をもっている。 支援 ：まちがえやすい筆順について、重点的に確かめられるように呼びかける。 書写の授業以外でも、常に気をつけるよう意識づける。